



国立病院機構奈良医療センター

新しい喘息の治療法 気管支サーモプラスチック を始めました

当院では、奈良県下の病院で初めて、気管支サーモプラスチック（温熱療法）を導入しました。

内視鏡を使って、気管支を温める治療法です。

治療には短期間の入院が必要になります。

18才以上の方で、次のような症状の方が治療の対象となります。

- ・おくすりによる治療を適切に続けても、喘息症状が出る。
- ・喘息が原因で会社や学校を休むことが一年に何日かある。
- ・喘息のせいで夜中や明け方に目が覚めることがある。
- ・喘息がひどく、入院することがある。
- ・喘息の症状が悪化し、予定外に医療機関を受診することがある。

患者さんが治療の対象となるかどうかは、喘息治療の専門医が判断します。
興味をお持ちの方は、是非、当院の内科を受診して下さい。

奈良医療センター：0742-45-4591

気管支喘息治療

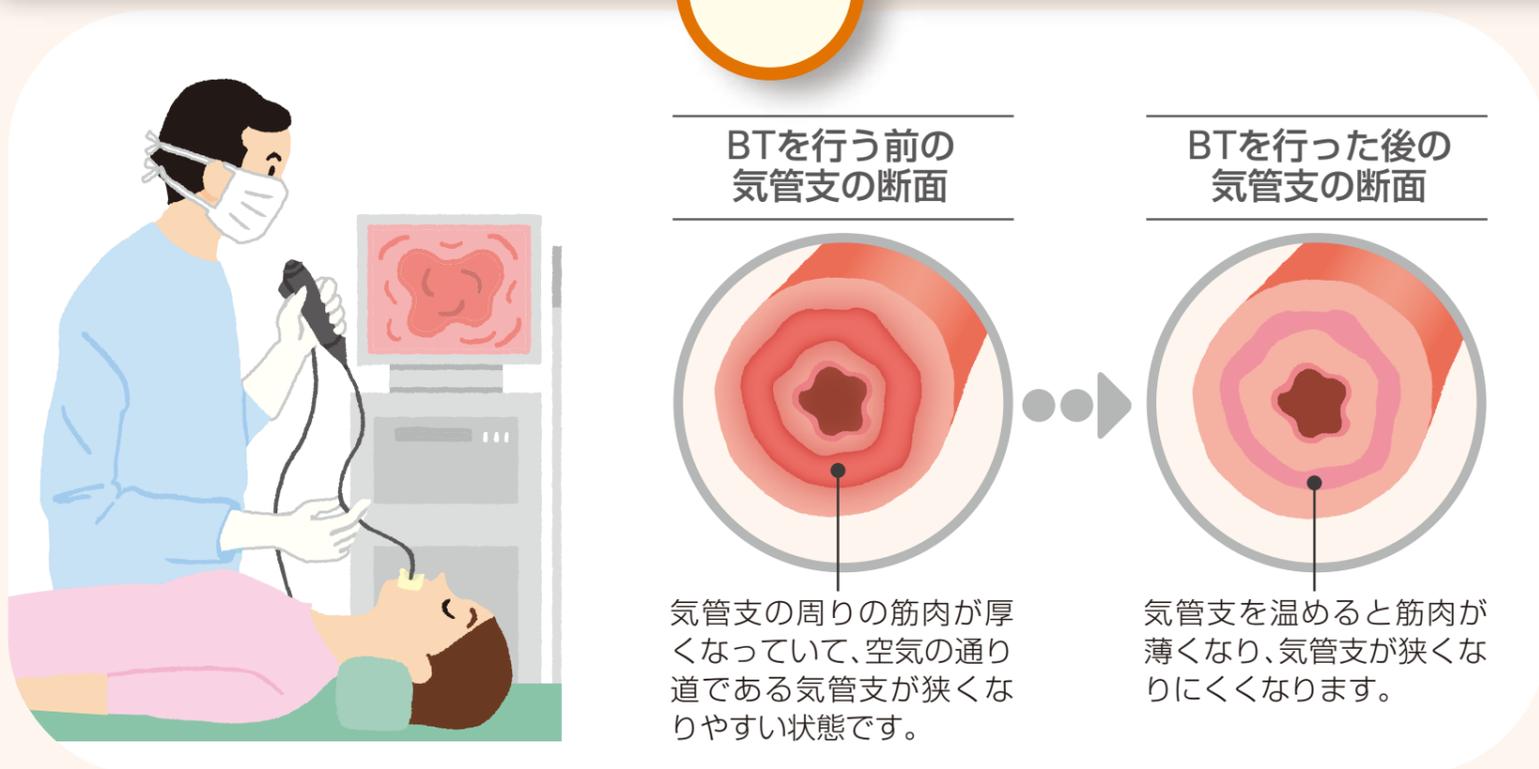
喘息治療はまずはお薬から

喘息は、ゼーゼーする、咳が出る、息苦しくなるなどの症状が出る病気です。ぜんそくのお薬には、炎症を抑えるために毎日使うものや、発作が起きたときにいち早くしずめるためのものがあり、タイプや使い方もさまざまです。自分に合った薬を適切に使用すれば、症状は改善します。一度専門医にご相談ください。

喘息発作を起こりにくくするために 内視鏡を使って気管支を温めます

喘息のお薬をきちんと使用しても発作が出てしまう方に対し、内視鏡を使った「気管支サーモプラスティ (Bronchial Thermoplasty: BT)」という治療法があります。BT治療は、18歳以上の患者さんが対象で、喘息発作の原因となる気管支の周りの筋肉が収縮する力を弱めるために、内視鏡を使って気管支の中をじんわり温めます。

あなたがこの治療の対象となるかどうかは、専門医が判断します。



BTを行う前の
気管支の断面

気管支の周りの筋肉が厚くなっていて、空気の通り道である気管支が狭くなりやすい状態です。

BTを行った後の
気管支の断面

気管支を温めると筋肉が薄くなり、気管支が狭くなりにくくなります。

詳しくは、喘息治療の主治医にお問い合わせください。